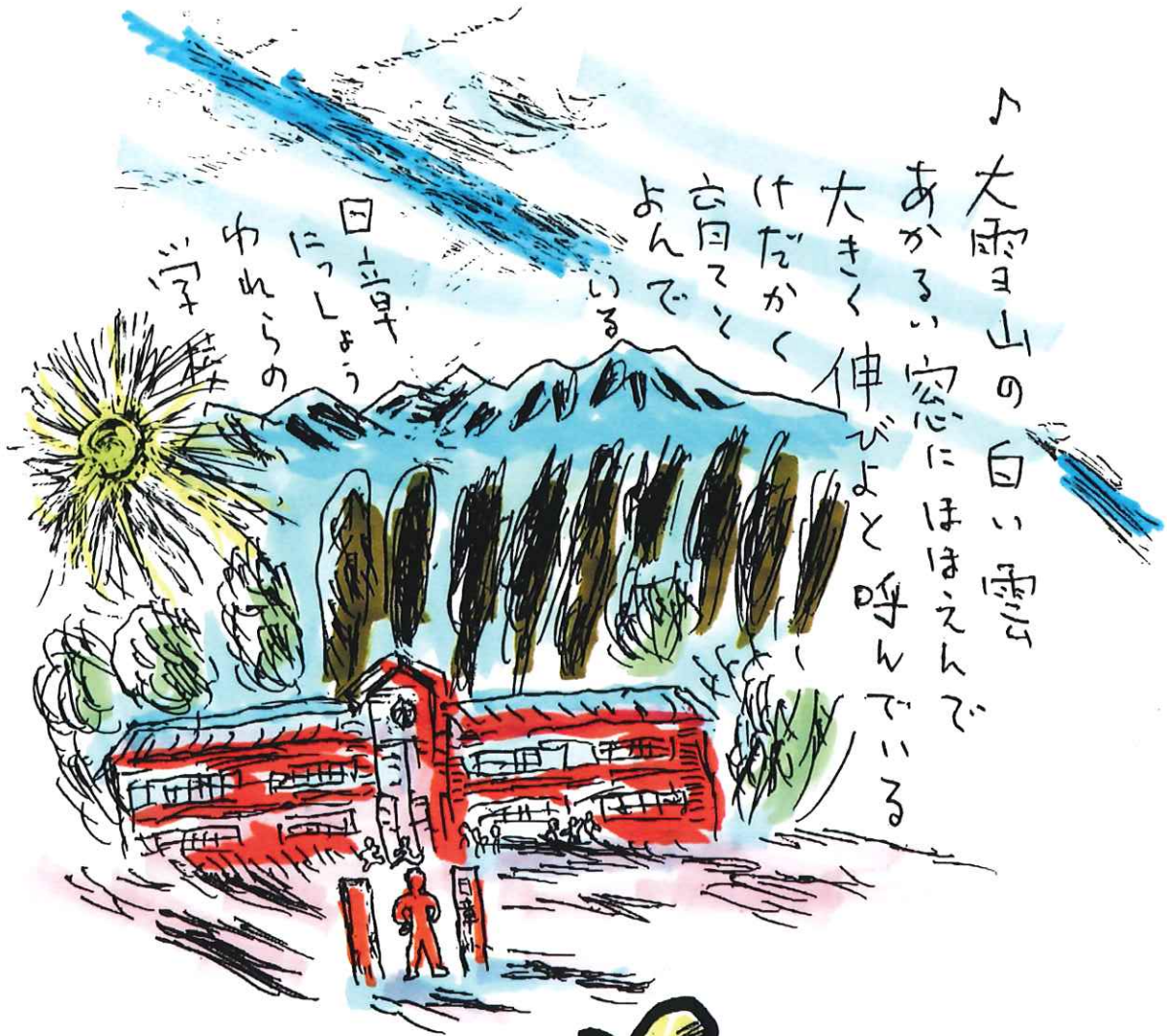


# にっしよう

h.abe



h.abe  
2022

## 日章小のご近所さん

### 佐久間病院 (5条通7丁目)

日章小の卒業生であり、同窓会長も務められた佐久間功先生が、ご家族と共に開業された佐久間病院。ここ旭川の中心部において、地域医療貢献のため、力を尽くしてこられました。

日章っ子の佐久間病院訪問は、2003年、「人にやさしく」というテーマの授業を行っていた当時の日章小の先生のある申し出で始まりました。それは、佐久間病院に入院している高齢の患者さんたちを、お見舞いして励ましたいという内容でした。それから数年後、「地域の方達への感謝」という授業でも病院訪問をすることとなり、日章の4・6年生と、佐久間病院との交流がスタートしたのです。

佐久間功先生はこの交流をととても喜ばれ、得意の作品を披露されるなどして、患者さんと日章っ子たちを驚かされたそうです。

佐久間功先生の娘さんも、かつては日章っ子でした。書面で思い出をお伺いしました。

当時の校舎は重厚な木造2階建てで、階段も立派な手すりがつき、たくさんの教室があり、広々としていました。3月のお節句にはお雛様が飾られ、5月には鯉のぼりが空を泳いでいました。当時、冬の間のくる病予防を目的とした、「紫外線照射室」という部屋が校内にありました。その中で、今では考えられませんが、パンツ1枚でサングラスをかけ、天井から照射される光を浴びていました。

同窓会長であった父は、母校である日章小学校とその児童、歴史、関わるすべての方達を愛しており、子供たちの未来に人生をかけていたように記憶しています。日章小学校の事で困った事や助けを求められると、寝食を忘れるほど考え、前向きに相談に乗っていました。130年続いた誇りを絶やさないように、名前を残す方向に進んでほしいというのが、父の遺志だと思います。



「図書館通り」って呼んでね!

1994年、ロータリーから旭橋を結ぶ、約320メートルの通りに愛称が付けられました。

408人の市民が応募した345の愛称の中から選ばれたのは、「図書館通り」。

「図書館通り」の愛称を応募した8人の中には、なんと当時4年生だった日章っ子がいたんですよ!

### 旭川市中央図書館 (常磐公園)

中央図書館は日章小の学区内にあるので、日章っ子にとっては気軽に通える場所です。旭川市、ひいては道北で一番大きな図書館を、日章っ子は自分の本棚のように使ってきました。でも意外と知らない図書館のいろいろ、聞いてきましたよ。

◎全部で何冊所蔵しているのですか?

①およそ130万冊です。本館、分室、図書館バスで巡回している50か所のステーションなど、市内全域で利用できます。市内であれば、借りる場所と返す場所が違って大丈夫ですよ。

◎本は誰が選んでいるのですか?

①図書館には、司書と呼ばれる資格をもった、図書館の仕事を専門にしている人たちがいます。その人たちが、「一般」「児童書」「雑誌」「視聴覚資料」に分かれて話し合い、選んでいます。選んだ本を買うお金は、皆さんのお父さんお母さんたちが働いて納めた、市民税という税金からまかなわれています。

◎なぜ棚以外に、書庫があるのですか?

①道北一大きな町である旭川市の図書館なので、小さな町では保管しきれない古い本を、書庫に保管しています。隣町や道北一円の皆さんが必要とした時に、郵送で貸し出しをしています。

教えてくださいましたのは・・・



中央図書館係長の岳(だけ)直人さんです。

～岳さんより～

人口30万人規模の都市の中でも、旭川市は図書館施設が充実しています。それは代々の旭川市民の方々が、図書館はもちろん、街中に彫刻を置くなど、歴史や文化に出資することをためらわなかった結果です。先人の方々に感謝です。皆さんも将来、どこに住むことになっても、旭川の先人の方々が守ってきた文化、その源である「感性」を大切にしてください。

図書館では将来に向けて、紙の本も残しながら、電子書籍をインターネット上で閲覧できるようにするなど、さまざまな準備を進めています。これからも図書館をたくさんご活用ください。

# あなたも私も日章っ子 ～日章小の思い出～



**松野和彦さん**

松野薬局（4条通6丁目）  
1954（昭和29）年入学

私の学年は、1クラス50名で7クラスありました。全校で2032名いました。当時の校舎は木造2階建てで、今とは場所が違い、現在の日章の森側にありました。今の築山のところに音楽室があったのですが、人数が多かったので、普通教室として使っていました。

**渋川義宏さん**

しぶかわ歯科医院  
（7条通5丁目）  
1974（昭和49）年入学

当時の生徒数は450人くらい。各学年2クラスだったかな。1年生の時だけ3クラスでした。



（中央）**高田（旧姓幅）得美子（えみこ）さん**

1997（平成9）年入学

（右）**幅泰子（たいこ）さん**

1999（平成11）年入学

（左）**幅裕郁子（ゆかこ）さん**

2004（平成16）年入学



3人とも各学年1クラスでした。1クラスだいたい15人前後で、人数が多いクラスは20人を超えていました。転校などで入れ替わりが多かったです。毎年人数が減ってゆくイメージがあります。

**谷川昌代（旧姓村田）さん**

フローリストムラタ（5条通7丁目）  
1993（平成5）年入学

1つ上の学年までは各学年2クラスあったのが、私たちの代から1クラスになりました。当時〇年1組は智組、2組は勇組というように、クラスごとに漢字が割り当てられていたので、1クラスだけだった私たちは、5年生の時までずっと智組でした。私たちが6年生になった時、全学年が1クラスだけになり、各学年に智・勇・仁・誠・敬・礼の漢字が割り当てられました。私たちは6年生になって初めて「智」以外の漢字の組、「礼組」になりました。



## 心に残るあの風景

冬の暖房は石炭ストーブでした。毎日、みんなで交代で石炭庫から石炭をバケツで運びました。石炭庫は暗く、寒くて不気味でした。時々、ストーブに石炭を入れ過ぎてストーブが真っ赤になり、爆発するのではないかと怖かったです。—渋川さん

昔の生徒はよく怒られていました。悪いことをしたら罰として、どんな悪いことをしたのかを書いた札を首から下げて、学校中を歩かされました。—松野さん

## 今はもうないけれど

ウサギと鶏の飼育小屋がありました。みんなでエサを与えたりして、世話をしました。動物と触れ合える貴重な機会でした。—渋川さん

すもう大会はイキイキしてました！長女（得美子さん）は優勝経験もあります。強いメンバーはだいたい決まっていたので、自分の順位を上げるのはなかなか大変でした。次女（泰子さん）は自分の四股名を考えるのが楽しかったです。ふんどしを装着するのが難しく、すもう大会近くになると、姉妹で特訓していました。—幅三姉妹さん

## 先生！！

4年生から卒業までを受け持ってくださいました先生は、当時お若く、情熱にあふれておられました。よく怒られましたが、真剣に怒ってくださっていることは、私たちにちゃんと伝わっていました。先生と私たちの間には強い絆が生まれ、去年はコロナ禍のせいで残念ながら開催できませんでしたが、卒業した年から毎年欠かさずクラス会を行っています。—松野さん

担任の先生はとても厳しい方でした。しかし今思えば、生徒思いのとてもいい先生でした。感謝しています。—渋川さん

## 給食

全校給食と言って、体育館で、全校生徒みんなで給食を食べたことがあります！当時としては珍しい、世界の料理を取り入れたメニューもありましたね。—谷川さん

給食での人気メニューはダントツ「揚げパン」！カレーも人気がありました。毎日給食が楽しみで、献立表をファイリングし、持ち歩いて確認していたほどです！—幅裕郁子さん



## ～日章小学校のはじまり～

公立忠別小学校として開校。明治26年9月15日、旭川で初めての公立学校として誕生しました。現在の日章小学校と知新小学校の前身です。2学級編成の、児童数46名からのスタートでした。

当時学校の周りは原生林だったそうです。場所は今のところとは少し違います。旭川市3条本通8丁目にありました。今はお店になっていますが、跡地として表示板があります。ぜひご覧になってください。